



原点回帰で商談重視

長谷川関西日販会会長



関西日販会 第27回 パンパク開催

関西日販会（長谷川正博会長・尼崎市・ダイハン書房）は4月19日、大阪市北区中央公会堂で「人・想像・出会い・創造」をテーマに第27回「出版博覧会（パンパク）」を開催した。

大阪、京滋、兵庫の書店107店舗168名、出版社75社が参加し、報道を含めて334名の過去最大の来会者となった。

昨年までの商談を一旦中断し、ステージでの出版社からの1分間アピールタイム「得トクバトル」の開催をやめ、今年はイベント色をあえて抑え、より多くの時間でじっくり商談をする商談会としての原点回帰に徹した。

懇親会で長谷川関西日販会会長は「本年度は得トクをなくした。その代わり出版社様の出展数も増やし、より商談する時間と機

会を多く作った。書店の参加者の数も20名程度増え大盛況に終了することができた。今回ご紹介をして頂いた商品で売場を活性化させ

5月23日（水）午前11時から梅田スカイビルタワーウエスト10F「アウラホール」で楽市・楽座が開催された。当日は雨天のなか、出版社・メーカー合計110社232名、書店125軒218名、総勢約450名が参集。

出版社・メーカーのブースでは、おすすめ商品の紹介や販売事例など、店頭に役立つ情報を提供。また、

楽市・楽座と懇親会 学校教育の変化や 市場動向で勉強会

トーションでは今年度の主要な取り組み内容を紹介するブースを設けた。書店への集客を促すイベント企画「店頭活性化プロジェクト」をはじめ、e-hon、共通ポイントサービス、複合提案などを書店に説明した。

また同会場内のイベントスペースでは、学習形態の変化に対応した売場づくりをテーマに勉強会を実施。3名の講師により、学習指

導要領の改訂に伴う学校教育の変化、そしてプログラミング学習や幼児・小学英語の今後の市場動向について説明され、トーションより店頭での売場づくりや学校、図書館への販売について提案がなされた。参加書店より「学校教育および児童生徒の変化とそれに伴うテキストの現況が理解でき今後の売場づくりについてよい示唆が得られた」と多数の意見があり今後の販売

につながる有意義な勉強会となった。

来場書店からは「多くの出版社と話ができて良い」「自店に入っていない売れ筋を知れた」などの感想が集まり、書店・出版社・取次が対面で交流し、今後の店頭販売の活性化につながる商談会となった。

前向きな意欲を示す

第43回関西中央会（矢野茂会長・向文堂書店）総会が7月11日、大阪市北区の新阪急ホテルで書店、出版社、中央社から約40人が出席して開かれた。

矢野会長は大阪北部地震や西日本豪雨に触れ、「毎年、雑誌の休刊が創刊を上回り、売上減、返品増と大変だが、被災した人のことを考えると我々は店も開けられている。下を向かず頑張っていく。出版社は中小書店でも売れる企画を考えてほしい」と挨拶をした。

中央社・加藤悟社長は17年度の売上について「前年比95・4%の見込み。雑誌はある程度想定していたが、84・6%と大きく落ち込み、さらにコミックが予

阪奈トーション会 第7回定例総会

今期の巻き返し誓う



林田芳幸会長

阪奈トーション会第7回定例総会、阪奈トーション会青年部第7回総会が5月28日にホテルロジック舞洲で行われた。当日は、書店18社20名、トーション15名、懇親会より出版社26社33名、総勢68名が参加した。

阪奈トーション会定例総会

は、林田芳幸会長（啓林堂書店）の開会の辞の中で、トーション会全国プレミアムセール2017販売コンクールにおいて、総合27位という結果を受けて、セールス上位に入る為にも「プレミアムセール拡販費」を昨年以上に計上し、「会員が一致協力して販売力を強化していく」と今期の巻き返しを誓った。

また、祝辞では来賓のトーション大阪支店・石井克実支店長が「全国トーション会

代表者総会で発表のあったリモデル、店頭活性化プロジェクト、e-honを活用したネットとリアルとの融合など各種施策を説明し、

出版業界は輸送コスト問題など厳しい環境下であるが、支店として全力でみなさんの支援にあたりたい」と決意を示した。

第7回阪奈トーション会青年部総会

同日開催の第7回阪奈トーション会青年部総会には会員書店、トーション合わせて計11名が参加した。

井上善博部長（和歌山市・ブックアベニュー紀州



井上善博部長

屋が、新年度の活動計画案に東京研修の実施などを掲げ、会の一層の活性化を呼びかけた。

書店事業で研修会

当日は、阪奈トーション会研修会として、湯浅創氏（TAC出版）を講師にむかえ、講義『これからの書店について考えよう』を開催し、青年部会員も一緒に受講した。直近の市場動向



研修会

や、新たな複合業態についてなど、書店事業のトレンドを踏まえたうえで、その実情などをお話しいただき、出席者一同真剣に耳を傾けた。

続く合同懇親会は、前年



野外バーベキュー

度の青年部懇親会に続いて野外バーベキューを敢行。熱気に溢れた会場には大阪湾より心地よい涼風が吹きこんで、新緑の季節らしい爽やかな気候のもと、出席者は大いに親睦を深めた。



竹内文利
名阪支社長



加藤悟
中央社社長



矢野茂
関西中央会会長

出版社を代表し、小学館P.C・西川雅司関西支社長から挨拶の後、竹内文利名阪支社長は「関西支店の数字に責任を感じている。何とか立て直したい。事前予約の施策は、完全納品することが鍵になる。関西支店の今年の売上目標は99・2%までに留め、返品率は28・2%と高い設定だが、既存店をしっかりと応援し、皆さんの協力で成し遂げたい」と力強く締め切った。